

事業所名

こどもひろばポーポーの木みなが

支援プログラム

作成日

2024年

12月

1日

法人（事業所）理念		個別療育で個々への支援を実施し、集団支援で社会性やコミュニケーションを学ぶ場を提供しています。また、ご家族様への相談援助や、関係機関との連携を実施し、包括的な支援を行えるよう努めます。									
支援方針		活動を通じて成功体験を増やし、本人のできる事を増やせるように専門的計画を元に支援します。									
営業時間		平日	10時	00分	から	19時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		土日・学校休業日	9時	00分	から	18時	00分	まで			
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	児童の健康の確認を行うとともに、体調不良などの意思の表出が難しい児童には、表情や普段と違う様子を確認しながら、健康管理を行います。重度の知的障害・強度行動障害の方には、無理のない程度に、長い期間をかけて日常生活動作など将来必要になってくる行動（トイレ・歯磨きなど）の獲得を促していきます。									
	運動・感覚	運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します。									
	認知・行動	特性に合わせて、どのような方法、環境の設定であれば円滑に学習できるかを模索し、支援します。また、“着席”、“少し嫌なことへも頑張ってみる”等課題に向く姿勢、力をつくよう支援します。頑張ると「楽しい」「やってよかった」と感じるように関わり方や内容を工夫します。									
	言語コミュニケーション	家庭や学校との意思疎通を行い児童への理解を深め、個々の児童に合った言葉だけではなく、絵カード・身振り・手振り・ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションで相互理解を図ります。									
	人間関係社会性	“順番交代”“役割”“ルールを守る”“指示に沿った行動をする”など、社会に適応する為に必要なスキルを支援します。また、“感情に気付く”“感情に名前を付ける”“対処法を考える”など、気持ちのコントロールを練習します。また、ストレスが強い状態の時には、児童のペースに合わせて関わり、ストレスを発散する方法を考えます。									
家族支援		連絡ノート、送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や、参観する場を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。				移行支援		学校との連携により、児童の特性を考慮した支援計画を作成します。卒業後に新しい環境でもスムーズに生活できるように生活スキルを身に付けられるように支援を行います。			
地域支援・地域連携		地域イベントへの参加や、町内のご家庭との交流を持つ事で地域との交流の機会を提供します。				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ●毎月の事業所会議実施 ●全事業所合同での管理者会議の実施 ●虐待研修の実施 ●研修会の参加と伝達講習 			
主な行事等		誕生日会、プール、買い物支援、他事業所交流会、野菜の収穫など									